

米子市スポーツ推進計画に掲げる施策の事業別実施状況

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和4年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和4年度予算	令和4年度決算	次年度 取組予定
基本方針Ⅰ 個々の適性や目的に応じたスポーツ活動の充実								
1 ライフステージ・適性に応じたスポーツ活動の推進								
(1) 子どものスポーツ活動の推進								
I-1 (1)-ア	ア 幼児期からの体力向上の 推進 親子体力づくり大会	毎年体育の日に未就学の子供とその保護者を対象に、親子体操・リズム体操・器具を使った体操など行う、親子体力づくり大会を開催します。親子で運動遊びを楽しんでもらうことにより、運動に親しむ機会をつくれます。家族で体を動かすことに関心を持ち、運動を積極的に生活の中に取り入れてもらい、幼児期における体力づくりの推進を図ります。	スポーツ 振興課	スポーツの日に新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための特別措置を講じた上で60組120名定員設定として開催した。参加人数は43組86名だったが、今後も社会情勢を見ながら競技団体と検討していきたい。	【親子体力づくり大会】 R4.10.10(スポーツの日) 参加者数 86人	開催委託料 38,500円	開催委託料 38,500円	継続
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動 の充実 少年スポーツ教室	小学生・中学生を対象とする柔道、剣道、陸上競技、ミニバスケットボール、ラグビー、ハンドボール、夏季少年スポーツ教室などの教室を開催します。各教室を主宰する競技団体と連携して、スポーツ教室の充実を図り、各競技の底辺拡大と競技力向上を図ります。	スポーツ 振興課	通年開催の少年スポーツ教室(7教室)を開催した。しかし、新型コロナウイルスによる感染拡大の影響により、7月と8月については一時中止とした。 また、夏期の少年スポーツ教室もダンススポーツを含む4教室が新型コロナウイルスの影響により中止となった。 参加者数は、令和3年度比べ1,800人程度増加した。 今後子どもが安全にスポーツ活動へ参加できる機会を拡充していくことを念頭に、新規種目を増やすなどの魅力向上を図り教室を開催していきたい。	【少年スポーツ教室】 参加者数 12,404人 (内訳) 剣道 1,430人 柔道 2,689人 陸上競技 122人 ミニバス 180人 体操 315人 ラグビー 1,195人 ハンドボール 6,420人 夏期教室(ゴルフ) 23人 夏期教室(空手道) 17人 夏期教室(ボクシング) 13人	開催委託料 (内訳) 剣道 80,000円 柔道 80,000円 陸上競技 48,000円 ミニバス 48,000円 体操 48,000円 ラグビー 48,000円 ハンドボール 48,000円 ・夏期教室 ゴルフ 4,500円 空手道 18,000円 ボクシング 12,000円 バドミントン 18,000円 硬式テニス 18,000円	開催委託料 (内訳) 剣道 80,000円 柔道 80,000円 陸上競技 48,000円 ミニバス 48,000円 体操 48,000円 ラグビー 48,000円 ハンドボール 48,000円 ・夏期教室 ゴルフ 3,000円 空手道 18,000円 ボクシング 12,000円 バドミントン 0円(中止の為) 硬式テニス 0円(中止の為)	継続
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動 の充実 小学生を対象とする各種 大会	少年野球大会、バレーボール大会、スポーツ少年団交流大会などを開催します。子ども達の体力づくりを含め、各競技の底辺拡大と競技力向上を図ります。	スポーツ 振興課	小学生を対象とした少年野球大会、バレーボール大会及びスポーツ少年団交流大会の3大会を開催した。 コロナ禍のため、感染拡大防止対策を講じ実施した。 参加者は前年度から100人程度減少し、野球大会については2部リーグの開催から1部リーグのみの開催となった。 今後は社会情勢を見ながら競技団体と連携した取組みを進め、多くの小学生に実戦経験の場を提供していきたい。	【小学生スポーツ大会】 参加者数 547人 (内訳) 少年野球大会 16チーム 260人 小学生バレーボール大会 24チーム 254人 スポーツ少年団交流大会 33人	開催委託料 (内訳) 少年野球大会 50,000円 小学生バレーボール大会 15,500円 スポーツ少年団交流大会 10,000円	開催委託料 (内訳) 少年野球大会 50,000円 小学生バレーボール大会 15,500円 スポーツ少年団交流大会 10,000円	継続
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動 の充実 スポーツ少年団運営事業	米子市スポーツ少年団の事務局として、活動の支援を行い、少年期から幅広いスポーツに親しみ、体を動かすことの楽しさにふれることにより、スポーツ活動を通じた子ども達の健全育成を図ります。	スポーツ 振興課	各スポーツ少年団の交流を目的とした「スポーツ少年団交流大会」を開催した。 また、競技別交流大会(軟式野球)を開催したほか、県西部医師会や鳥取大学医学部附属病院と連携して「野球ひじ」の検診を開催し、青少年の健全育成を図った。交流大会の参加者数は減少傾向にあるが、再び多くの団員が競技種目の垣根を越えて交流できるよう企画の工夫が必要である。引き続き、子どもたちがスポーツに親しめる環境づくりに取り組む。	【スポーツ少年団交流大会】 R3.11.3 参加者数 33人 【市競技別交流大会】 軟式野球 10チーム 野球ひじの検診 234人	開催委託料 スポーツ少年団交流大会 10,000円	開催委託料 スポーツ少年団交流大会 10,000円	継続
I-1 (1)-ウ	ウ 学校体育・部活動の充実 運動部活動推進事業	中学校の運動部活動において、専門的な指導ができる顧問がいらない場合等に、県が実施する外部指導者の派遣事業を活用し、運動部活動の指導の充実を図ることにより、運動部活動の活性化と競技力の向上を図ります。	学校教育 課	【配置校】 東山中…女子卓球部、男子卓球部、男女バドミントン部 淀江中…男子バスケットボール部 弓ヶ浜中…男女剣道部 後藤ヶ丘中…女子新体操部、女子卓球部、男女柔道部 福生中…男女バドミントン部、女子バスケットボール部 【成果】 外部指導者を活用することにより、より専門的な指導が可能になった。	実施校 5校 部活数 10	1,053,000円 (内訳) 報酬1,000,000円 (100,000×10人) 旅費34,000円 保険19,000円	補助金事業(県と市町で1/2) 合計 961,125円 (内訳) 市費 480,813円 県補助金 480,812円	補助金事業 (県と市町で1/2)で継続 予定

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和4年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和4年度予算	令和4年度決算	次年度取組予定
1 ライフステージ・適性に応じたスポーツ活動の推進								
(2) 成年期からのスポーツ活動の推進								
I-1-(2)	各種スポーツ大会	市民レガッタ、正月マラソン大会、ポッチャ大会、インディアカ大会、スキー大会など、年齢・経験を問わず、市民のだれもが気軽に参加しやすい大会を開催することにより、スポーツ活動の機会を提供し、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ振興課	コロナ禍のため、参加者の定員数の制限や健康チェックシートの提出など感染症対策を徹底した上で生涯スポーツの推進を図った。 市民レガッタについては参加者を山陰在住者限定とし、3年ぶりに開催した。 その他の大会については、前年度に引き続きポッチャ、インディアカ、3年ぶりにマラソンとスキーを実施。インディアカとポッチャの参加者は前年と比べ減少したが、ポッチャは当課で行っている器具の貸し出しについては29件の実績があり、20件以上増加した。誰でも気軽に楽しめるスポーツとして徐々に浸透してきている。 今後も競技団体と連携し、次年度以降の対応を検討していきたい。	参加者数 668人 (内訳) 市民レガッタ 200人 ポッチャ交流大会 78人 正月マラソン 310人 インディアカ大会 41人 市民スキー大会 39人	開催委託料 (内訳) 市民レガッタ19,000円 ポッチャ交流大会 9,000円 正月マラソン 19,000円 市民スキー大会 36,000円	開催委託料 (内訳) 市民レガッタ19,000円 ポッチャ交流大会 9,000円 正月マラソン 19,000円 市民スキー大会 36,000円	継続
I-1-(2)	市民体育祭	公民館地区又は中学校校区単位のチームで参加できる野球、バドミントン、バレーボール大会などを開催し、競技スポーツに親しむ機会をつくることで、地域住民の交流及び地域のスポーツ活動の推進を図ります。	スポーツ振興課	新型コロナウイルスの感染拡大で、鳥取県版新型コロナ警報が「特別警報」に引き上げられたことや、チームメンバーに陽性者が確認されたことで棄権するチームが複数出たことにより、バレーボール大会は中止した。 その他大会の開催については、各競技団体と協議し、感染対策を行い実施した。 しかし、参加チーム数と参加者数は昨年と比較して、10チーム、80人程度減少した。 コロナ禍においても、市内の感染状況等を見極め、十分な感染対策を図り、可能な限り市民にスポーツを実施できる環境を提供できるよう努めていきたい。	参加チーム 87チーム 参加者数 655人 (内訳) ソフトボール 6チーム・70人 卓球 7チーム・70人 野球 4チーム・44人 バドミントン 4チーム・35人 ソフトテニス 5チーム・81人 グラウンド・ゴルフ 51チーム・295人 ゲートボール 10チーム・60人	開催委託料 (内訳) ソフトボール 58,100円 卓球 24,900円 野球 37,700円 バドミントン 42,200円 バレーボール 50,900円 ソフトテニス 16,300円 グラウンド・ゴルフ 19,700円 ゲートボール 34,200円	開催委託料 (内訳) ソフトボール 58,100円 卓球 24,900円 野球 37,700円 バドミントン 42,200円 バレーボール 0円(中止の為) ソフトテニス 16,300円 グラウンド・ゴルフ 19,700円 ゲートボール 34,200円	継続
I-1-(2)	体力づくり歩け歩け大会・体力テスト会	スポーツ推進委員が主体となり、健康増進のため、誰でも参加できる毎月1回のウォーキング(歩け歩け大会)、年間2回の体力テスト会を実施します。スポーツや体力づくりへの関心を高め、気軽に運動に親しめる機会をつくり、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ振興課	【体力づくり歩け歩け大会】 新型コロナウイルス感染拡大により、年間12回のうち令和2年度は4回、令和3年度は8回の実施であったが、令和4年度は新型コロナウイルスが一定の落ち着きを見せたことにより、感染症対策を徹底した上で12回全て実施した。 延参加者数は前年の270人から大幅に増加した。 次年度以降も継続して実施し、市民が気軽にウォーキングに親しめる機会を提供していきたい。 【体力テスト会】 新型コロナウイルス感染拡大により令和3年度は中止となっていたが、令和4年度は前期・後期とも実施し、延73人の参加があった。 次年度以降も継続して実施し、市民が気軽に自身の体力年齢を確認し、運動習慣を見直すことができる機会を提供していきたい。	【体力づくり歩け歩け大会】 延参加者数 502人 【体力テスト会】 前期 38人 後期 35人	【体力づくり歩け歩け大会】 旅費 48,000円 施設使用料 10,500円 【体力テスト会】 開催委託料 24,000円	【体力づくり歩け歩け大会】 旅費 56,850円 施設使用料 5,200円 【体力テスト会】 開催委託料 24,000円	継続
1 ライフステージ・適性に応じたスポーツ活動の推進								
(3) 高齢者のスポーツ活動の推進								
I-1-(3)	がいなみつく予防トレーニング(通所型運動機能向上事業)	生活機能の低下が認められる高齢者を対象に、フィットネスクラブ、介護保険施設等で筋力トレーニング・有酸素運動・ストレッチ等を、理学療法士・作業療法士又は健康運動指導士により行います。運動することの楽しさを体感し、運動効果を理解してもらうことで、運動習慣につなげることを目指します。	フレイル対策推進課	12ヶ所のフィットネスクラブや介護保険施設で実施。 がいなみつく予防トレーニング終了後も、そのまま利用した施設で一般利用につながっている方が多い。 運動のきっかけづくりとして新規利用者の獲得を図るための啓発を行った。また、単に運動だけでなく、総合的なフレイル予防効果を得られるように、専門職による個別の助言も行っている。	【がいなみつく予防トレーニング】 参加実人数 314人 延参加者数 3,255人 ※実施回数は、施設ごとで曜日や時間が異なるため不明	消耗品費190,790円 通信費1,661,000円 委託費5,896,000円	消耗品費 32,021円 通信運搬費 79,000円 委託料 4,557,755円	事業終了
I-1-(3)	ふらっと運動体操(通所型運動機能向上事業)	高齢者を対象に、ふれあいの里等、市内3箇所の施設に設置された運動トレーニング機器を開放し、予約なしでふらっと立ち寄り気軽に運動できる環境を整備することにより、運動することの楽しさを体感し、運動効果を理解してもらうことで、運動習慣につなげることを目指します。	フレイル対策推進課	各々のペースで、運動する雰囲気が定着している。また、各会場で参加者同士の会話も見られ、仲間づくりにも繋がっている。 令和4年度から、本事業の初回参加時及び約半年後の参加時に体力測定を行い、リハビリ専門職によるフレイル予防に向けた個別の助言を行っている。	【ふらっと運動体験】 ①フレイル対策拠点分 延参加者数 3,118人 実施回数 108回 ②米子サン・アビリティーズ分 延参加者数 578人 実施回数 21回	①フレイル対策拠点3カ所分 委託料 39,046,000円 ②米子サン・アビリティーズ分 委託料626,000円	①フレイル対策拠点3カ所分 委託料 3,076,491円 ②米子サン・アビリティーズ分 委託料520,407円	継続
I-1-(3)	よなGO!GO!体操普及事業	高齢者が楽しく運動できるように「365歩のマーチ」の曲に合わせて、立ったり座ったりなど日常生活の動きを取り入れながら、普段動かさなくなった関節や筋肉を動かす体操です。よなGOGO体操を普及させ、高齢者が出来るだけ、長く健康でいきいきした生活を送れるよう、運動習慣のきっかけづくりとすることを目指します。	フレイル対策推進課	施策単独での報告は無し (Ⅱ-1 米子市健康づくり地域サポーター養成事業に含まれるため)				継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和4年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和4年度予算	令和4年度決算	次年度 取組予定
1 ライフステージ・適性に応じたスポーツ活動の推進								
(4) 障がい者のスポーツ活動の推進								
I-1-(4)	福祉大会等開催助成事業	鳥取県内で実施されている、さわやか車いすマラソン大会、手をつなぐスポーツ祭、アクアスロン皆生大会等の障がい者の各種大会の開催経費の一部を助成します。大会を通じて、障がい者がお互いの理解と親睦を深めると共に、積極的に社会参加する意欲を喚起することを目指します。また、市民の障がい者に対する正しい理解の啓発を図ります。	障がい者支援課	新型コロナウイルス感染症の影響により、予定されていた手をつなぐスポーツ大会は中止となった。 3年ぶりにさわやか車いすマラソン大会、2年ぶりにアクアスロン皆生大会を開催することができた。	【さわやか車いすマラソン大会】 R4.9.10 開会式 R4.9.11 大会当日 参加者数:選手815人、役員500人 【手をつなぐスポーツ大会】 中止 【アクアスロン皆生大会】 R5.10.10 参加者数:選手66人、ボランティア249人	【さわやか車いすマラソン大会】 70,000円(補助金) 【手をつなぐスポーツ大会】 65,000円(補助金) 【アクアスロン皆生大会】 100,000円(補助金)	【さわやか車いすマラソン大会】 65,305円(補助金) 【手をつなぐスポーツ大会】 0円(補助金) 【アクアスロン皆生大会】 100,000円(補助金)	継続
I-1-(4)	各種スポーツ・体操講座 (障がい者福祉施設管理運営事業)	指定管理者の自主事業として、米子市心身障害者福祉センター又は米子サン・アビリティーズで、グラウンドゴルフ、ヨガ、卓球等の講座や、車椅子バスケットボール、風船バレーボール、3B体操等のスポーツを行います。スポーツを通じて体を動かす喜びを知ってもらうことで、身体能力の向上と仲間との交流を図ります。また、運動不足になりがちな方々の身体能力の回復を図ります。スポーツ大会の際には、障がいのない人がボランティアとして参加するなど、障がいのある人となない人の交流促進を図ります。	障がい者支援課	指定管理者の自主事業として、米子市心身障害者福祉センター又は米子サン・アビリティーズで、グラウンドゴルフやサウンドテーブルテニス、車いすバスケットボール、風船バレーボール等のスポーツを行った。	グラウンドゴルフ 49回 サウンドテーブルテニス 24回 フレイル予防体操 13回 車いすバスケットボール 12回 風船バレーボール 11回 車いすアーチェリー 47回	指定管理料(自主事業費) 1,400,000円の一部	指定管理料 329,256円 (内訳) グラウンドゴルフ 0円 サウンドテーブルテニス 200,448円 フレイル予防体操 66,136円 車いすバスケットボール 20,040円 風船バレーボール 16,500円 車いすアーチェリー 26,132円	継続
I-1-(4)	米子市こころの広場事業	在宅療養中で、精神に障がいのある方が、体育施設等でスポーツ(卓球、バドミントン、風船バレー等)を行うことで、他者との交流を図ります。	障がい者支援課	5月には米子サン・アビリティーズにて、ボッチャを実施した。米子サン・アビリティーズの職員がルール説明と審判を行った。 2月には淀江公民館大集会室にて健康対策課の作業療法士によるネグトレと脳トレを実施。負荷が少なめの体操を選んで実施したので無理なく参加できた。	【ボッチャ体験】 R4.5.18 参加者数8人(うちボランティア3人) 【ネグトレ、脳トレ】 R5.2.16 参加者数8人(うちボランティア3人)	【ボッチャ体験】 米子サン・アビリティーズの職員への報酬はなし 【ネグトレ、脳トレ】 健康対策課の作業療法士への報酬はなし	【ボッチャ体験】 米子サン・アビリティーズの職員への報酬はなし 【ネグトレ、脳トレ】 健康対策課の作業療法士への報酬はなし	継続
2 誰もが親しみやすいスポーツ活動の推進								
I-2	ユニバーサルスポーツ普及事業	各競技団体と連携し、風船バレー、スポーツ吹き矢、スポーツチャンバラ、ボッチャ、ウォーキングサッカー等を公民館で実施することで、生涯スポーツの推進やスポーツを通じた地域住民の交流を図ります。	スポーツ振興課	ボッチャ教室では6公民館(和田、宇田川、大和、明道、義方、啓成)から申し込みがあり実施した。 また令和4年度から実施種目に健康ボクシングが新規で加わり、3公民館(福生西、車尾、宇田川)から申し込みがあり実施した。 ユニバーサルスポーツの普及と公民館でのスポーツを通じた交流に寄与した。 次年度以降も、競技団体との連携により、各公民館の希望にあわせた教室を実施したい。	【ボッチャ教室】 6回実施 延参加者数 173人 【健康ボクシング教室】 3回実施 延参加者数 20人	委託料 60,000円 (5,000円×12回)	【ボッチャ教室】 委託料 30,000円 (5,000円×6回) 【健康ボクシング教室】 委託料 15,000円 (5,000円×3回)	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和4年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和4年度予算	令和4年度決算	次年度 取組予定
基本方針Ⅱ スポーツ活動によるコミュニティづくりと地域振興								
1 地域のスポーツ活動の推進								
Ⅱ-1	スポーツ推進委員協議会 運営事業	米子市スポーツ推進委員協議会を運営し、スポーツ推進委員により、住民に対するスポーツの実技の指導その他、スポーツに関する指導及び助言を行うことで、地域でのスポーツ活動の活性化に向けた取り組みを行い、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ 振興課	【スポーツ推進委員協議会】 新型コロナウイルスの感染拡大が一定の落ち着きを見せたことから、令和4年度は体力づくり歩け歩け大会、体力テスト会、ポッチャ交流大会及び機関紙の発行等、計画していた全ての事業を実施することができ、市民が気軽にスポーツに親しむことができる機会を創出することができた。 また、スポーツ推進委員を対象としたニュースポーツ講習会（ふらばーるバレー、前後期の2回）及びストレッチ体操研修会を実施し、生涯スポーツの推進に向けて必要な知識や技能の習得を図った。 次年度以降も、スポーツ推進委員協議会の運営を通じ、生涯スポーツの推進を図っていきたい。	【ポッチャ交流大会】 参加者 78人 【ニュースポーツ講習会（ふらばーるバレー）】 前期 29人 後期 35人 【ストレッチ体操研修会】 参加者数 32人	スポーツ推進委員協議会運営費（委員報酬） 2,164,600円 補助金（全国スポーツ推進委員研究協議会旅費） 40,990円 ポッチャ交流大会開催委託料 9,000円	スポーツ推進委員協議会運営費（委員報酬） 2,164,600円 補助金（全国スポーツ推進委員研究協議会旅費） 40,990円 ポッチャ交流大会開催委託料 9,000円	継続
Ⅱ-1	学校体育施設開放事業	小中学校の体育館やグラウンドを学校運営に支障のない範囲で地域に開放します。学校体育施設を有効活用することにより、地域住民にスポーツ活動の場を提供し、地域でのスポーツの活性化を図ります。	こども施設課	新型コロナウイルスの感染症拡大の影響による休校等により利用を中止することがあったが、学校運営に支障のない範囲で地域に開放した。 今後は、施設予約や支払い方法をシステム化し、利用者の利便性を向上することで、体育施設の利用機会の拡大を目指す。システム構築については、令和5年度に業者選定、システム構築、テスト運用、令和6年度より実運用を予定している。	【利用実績】 小学校 13,419件、291,054人 中学校 1,657件、21,892人 【学校当たり平均実績】 小学校（23校）583件、12,654人 中学校（11校）150件、1,990人	【消耗品費】 小学校 596,000円 中学校 192,000円 【印刷製本費】 小学校 112,000円 中学校 56,000円 【修繕料】 小学校 700,000円 中学校 545,000円	【消耗品費】 小学校 785,956円 中学校 149,717円 【印刷製本費】 小学校 164,340円 中学校 10,560円 【修繕料】 小学校 985,600円 中学校 872,300円	継続
Ⅱ-1	やって未来や塾（米子市地域健康づくり応援事業）	地域住民を対象に、健康運動指導士が運動を主体とした健康づくりのための運動指導及び活動支援を行います。地域住民が、自主的な活動として楽しく継続的に取り組んでいくことを支援し、運動を主体とした健康づくりを図ります。	フレイル 対策推進課	継続的支援、新規立ち上げ支援を行った。 年3回運動等の内容についての支援を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止による活動自粛要請のため、支援回数は少なくなった。 新規の立ち上げは1か所であった。	【新規活動支援】 1ヶ所、8回 延参加者数 129人 【継続活動支援】 31カ所、88回 延参加者数 1,162人	委託料 576,000円	委託料 568,000円	継続
Ⅱ-1	米子市健康づくり地域サポーター養成事業	地域で運動を主体とした健康づくり活動をしたい方が、「健康づくり地域サポーター」として、地域で健康づくり活動を推進していきます。地域サポート講座や研修会等で得た介護予防に関する知識の地域への普及、「よなGOGO体操」の普及活動、地域の体力測定会やサロンでの健康づくり活動のサポートなどを行うことで、地域全体での高齢者を支える仲間づくりをすすめる、地域での健康づくりを目指します。	フレイル 対策推進課	地域サポート講座基礎編を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大の予防対策をしながら、いかに地域での活動につなげられるか講義及び話し合いを行った。 サポーターの平均年齢が高くなっており、若いサポーターの確保とともに、サポーターの役割を再構築し、新規のサポーターを育成できるよう体制を整える必要がある。	【基礎編】 1回 参加者数 129人	248,000円	報償費 15,400円 消耗品費 99,000円 燃料費 11,011円 通信運搬費 80,000円 委託料 8,000円	継続
2 スポーツに触れる機会の提供・スポーツツーリズムの推進								
Ⅱ-2	プロスポーツの支援活動	地元で活躍するプロスポーツチームの活動を応援し、また、競技、チームに関する情報発信や、ホームゲームに合わせてイベントを開催するといった、市民にプロスポーツをより身近に感じてもらえるような機会の提供に努めます。	スポーツ 振興課	ガイナレ鳥取ホームタウンデーでモルックやめんこ、ウォーキングフットボールなど誰でも楽しく体を動かせるイベントを開催し、親子連れを中心にファン層の拡大に努めた。	【ガイナレホームタウンイベント】 R4.10.9（日）	消耗品費67,000円	消耗品費 54,890円	継続
Ⅱ-2	全日本トライアスロン皆生大会	日本トライアスロン発祥の大会であり、本市を発着点として鳥取県西部一円で開催されています。大会では毎年4,000名を超えるボランティアが参加し、市民と選手が直接触れ合う機会となっています。この大会の開催を支援し、観光資源として活用することにより、誘客を促進し、地域振興を図ります。	スポーツ 振興課	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、コースの距離短縮を講じての開催であったが、3年ぶりに第40回の記念大会を開催することができ、全国から1,111人の選手が参加した。 本大会は市を代表する一大イベントとして定着しており、経済波及効果も大きいと、皆生トライアスロン協会と連携しながら、今後も大会を維持し、安全・安心な形で開催できる方法を検討していく必要がある。	【全国トライアスロン皆生大会】 参加選手 1,111人	補助金 9,353,484円	補助金 9,353,484円	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和4年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和4年度予算	令和4年度決算	次年度 取組予定
Ⅱ-2	皆生・大山SEA TO SUMMIT	日本海から大山山頂までをカヤック・自転車・登山の3種目で目指す体験型環境スポーツイベントで、平成27年には200名以上の方が参加しています。この大会の開催を支援し、観光資源として活用することにより、誘客を促進し、地域振興を図ります。	スポーツ振興課	前年に続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催中止とした。 本イベントは、この地域を代表するスポーツツーリズムの大会であり、地域振興に資するものであることから、モンベル、鳥取県、大山町及び日吉津村と連携を図り、次年度以降の開催に向けて準備を進めていきたい。	【皆生・大山SEA TO SUMMIT2021】 開催中止	事業運営負担金 130,436円	事業運営負担金 130,436円	継続
Ⅱ-2	サイクルスポーツ推進事業	大山山麓・日野川流域観光推進協議会及び近隣市町村等と連携し弓ヶ浜サイクリングコースを活用した魅力発信事業を展開します。また、観光誘客向けのガイド育成やハード整備等に力を注ぐことによりナショナルサイクルルート認定に向けた取組を推進すると共に、サイクルスポーツを通じた地域の活性化を図ります。	観光課 スポーツ振興課	境港市と連携し、白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコースに、公衆トイレなどの利便施設や距離をマップに掲載した案内看板と現在地ポイント標柱を設置した。外国人観光客にも対応するため日本語表記に英語を併記し、快適なサイクリング環境の整備を行った。 また「大山山麓・日野川流域観光推進協議会事業」の中で、サイクリスト聖地化事業を実施し、弓ヶ浜サイクリングコースを活用した魅力発信イベント「TrialMarathon in弓ヶ浜2022」、「集まライダー2022」が補助金採択事業として開催された。そのほか「YONAGO サイクルカーニバル in YODOE 2022」の開催を支援することにより、本市をはじめとする鳥取県西部圏域におけるサイクルツーリズムの振興を図った。	○サイクルスポーツ推進事業 「弓ヶ浜サイクリングコース案内看板作製等業務」 ・案内看板 4箇所（日野川河口、弓ヶ浜公園、夜見町交差点北側海岸、和田浜展望台） ・現在地ポイント標柱 5箇所（皆生漁港、加茂松並木、大水落川、富益海岸、境夢みなとターミナル） ○大山山麓・日野川流域観光推進協議会事業 「TrialMarathon in弓ヶ浜2022」 主催：TrialMarathon in 弓ヶ浜実行委員会 開催日：令和4年10月30日 参加者：168人 「集まライダー2022」 主催：つながり！米境プロジェクト実行委員会 開催日：令和4年11月5日、6日 参加者：83人 「YONAGO サイクルカーニバル in YODOE 2022」 主催：米子日吉津商工会 開催日：令和4年9月4日 参加者：205人	委託料2,800,000円 米子市負担金206,000円 ※本事業の他に2事業を採択しているため、計3事業分の負担金額となっている。 米子市負担金400,000円 米子市負担金500,000円	委託料2,491,500円 米子市負担金123,600円 ※本事業の他に2事業を採択しているため、計3事業分の負担金額となっている。 米子市負担金400,000円 米子市負担金500,000円	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和4年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和4年度予算	令和4年度決算	次年度 取組予定
基本方針Ⅲ スポーツ環境の充実								
1 競技力の向上								
Ⅲ-1	スポーツ協会運営事業	米子市スポーツ協会を運営し、スポーツ団体との連絡調整を行い、優秀な成績を収めた競技者を表彰するなどして、各種スポーツの振興を図るとともに、各競技団体の競技力向上を図ります。	スポーツ 振興課	米子市スポーツ協会として、以下の事業を実施した。 ・10種目のスポーツ教室、9種目のスポーツ大会、8種目の市民体育祭を加盟団体に委託して実施することにより、市民体育行事への推進と協力を図った。新型コロナウイルス感染症の影響により、2種目のスポーツ教室、1種目の市民体育祭を中止した。 ・鳥取県民スポレク祭実行委員会に参画し、加盟団体に対し参加の呼びかけと参加者の取りまとめを行った。 ・県大会以上の大会で優れた成績を挙げた小学生から一般の選手について、加盟団体からの推薦に基づき選考し、表彰した。	【鳥取県民スポレク祭参加者実績】 1,461人 【スポーツ表彰事業】 個人 129人 団体 43団体 【小学生全国大会出場激励金交付事業】 個人 12人 団体 7団体	米子市スポーツ協会補助金 73,000円 市民体育祭委託料 284,000円 市主催大会・教室委託料 675,000円	米子市スポーツ協会補助金 73,000円 市民体育祭委託料 233,100円 市主催大会・教室委託料 639,000円	継続
2 スポーツ施設等の充実								
Ⅲ-2	体育施設管理運営事業	体育施設については、各種スポーツ大会の会場及び災害時の避難所となるため、危険箇所および老朽箇所の改修を行い、利用者に安全・快適に体育施設を利用してもらえるよう管理運営に努めます。	スポーツ 振興課	・市民体育館 新体育館をPFI手法により整備等を行う事業者の公募に当たり、法務・財務等の専門知識を有する総合的アドバイザーとなる事業者の選定を行った。アドバイザーの支援を受けながら、令和5年2月に実施方針等の策定・公表を行った。 また、整備等事業者の選考を行う「米子新体育館整備等事業者選考委員会」を組織し、令和5年1月に第1回会議を開催し、公表資料に意見の反映を行った。 ・東山庭球場 令和3年度に着手した東山庭球場の擁壁工事が完了し、施設の安全性を高めることができた。 また、オムニコートの全面張替工事を実施し、競技環境の向上を図った。 ・東山陸上競技場 会議室に空調設備を設置し、施設機能の強化を図った。 ・地区体育館 利用環境を向上させるため、女子トイレの洋式化工事を実施した。	【市民体育館】 米子新体育館整備等事業PFI事業者選定アドバイザー業務委託 【東山庭球場】 東山庭球場擁壁改修工事 東山庭球場コート張替工事 【東山陸上競技場】 陸上競技場会議室空調設備設置工事 【地区体育館】 地区体育館等トイレ洋式化工事	【米子新体育館整備等事業PFI事業者選定アドバイザー業務委託】 9,000,000円 【東山庭球場擁壁改修工事】 28,439,000円 【東山庭球場コート張替工事】 140,000,000円 【陸上競技場会議室空調設備設置工事】 2,900,000円 【地区体育館等トイレ洋式化工事】 5,500,000円 【米子市民球場発電機取替工事】 13,100,000円 【米子市民球場グラウンド内倉庫建具改修工事】 5,900,000円	【米子新体育館整備等事業PFI事業者選定アドバイザー業務委託】 8,679,000円 【東山庭球場擁壁改修工事】 22,464,000円 【東山庭球場コート張替工事】 142,186,000円 【陸上競技場会議室空調設備設置工事】 2,560,800円 【地区体育館等トイレ洋式化工事】 3,350,424円 【米子市民球場発電機取替工事】 8,294,000円 【米子市民球場グラウンド内倉庫建具改修工事】 5,260,200円	継続
3 心身の安全・安心の確保								
Ⅲ-3	スポーツ協会運営事業（再掲） スポーツ少年団運営事業（再掲）	各競技団体や県スポーツ協会、各学校と連携し、指導者の育成を行い、スポーツ実施者にとって安全・安心なスポーツ環境の提供を図ります。	スポーツ 振興課	スポーツ少年団の運営では、県が策定する新型コロナウイルス感染症予防ガイドラインに合わせ、県外で実施する練習試合に参加する際の注意点や、濃厚接触者になった場合の待期間など予防策の周知に努めた。 指導者育成の観点では、県スポーツ協会と連携し、11月にはスポーツ少年団の指導者を対象とした研修会を開催。鳥取大学医学部附属病院スポーツ医科学センターから講師を招き、スポーツ傷害や障害の予防について学ぶ場を設けた。 夏場の暑さが深刻化する中、夏期の行事運営にあたっては競技団体と協力し、開催日や時間、場所を検討していく必要がある。	・新型コロナ予防策の周知 【R4.4.21】 濃厚接触者に特定された場合の活動休止 【R4.4.28】 県外他団体との練習試合について 【R5.8.3】 待機期間の短縮など ・西部地区指導者研修会 11月26日開催 参加者数16名	・西部地区指導者研修会 50,000円 ※県スポーツ協会からの助成	・西部地区指導者研修会 50,000円	継続

《参考資料》

基本方針Ⅰ-1-(1) 子どものスポーツ活動の推進

【親子体づくり大会】

種 目	区分	H30	R1	R2	R3	R4
親子体づくり大会	子ども	96	192	40	40	43
	親	96	192	40	40	43
	計	192	384	80	80	86

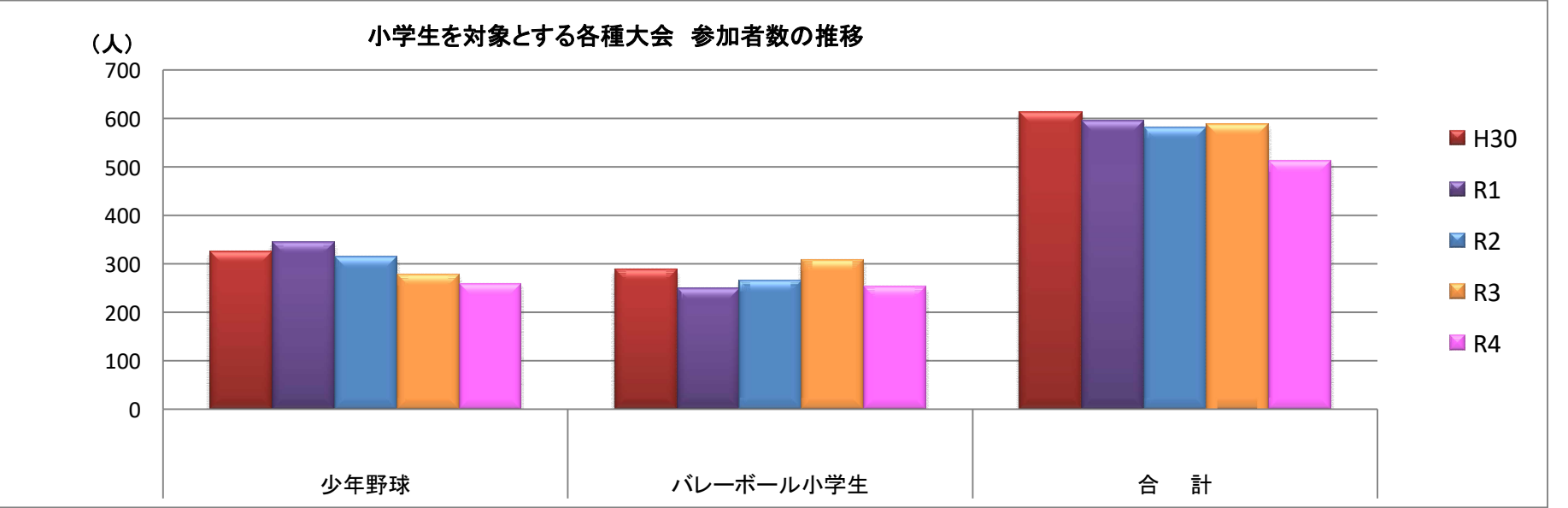
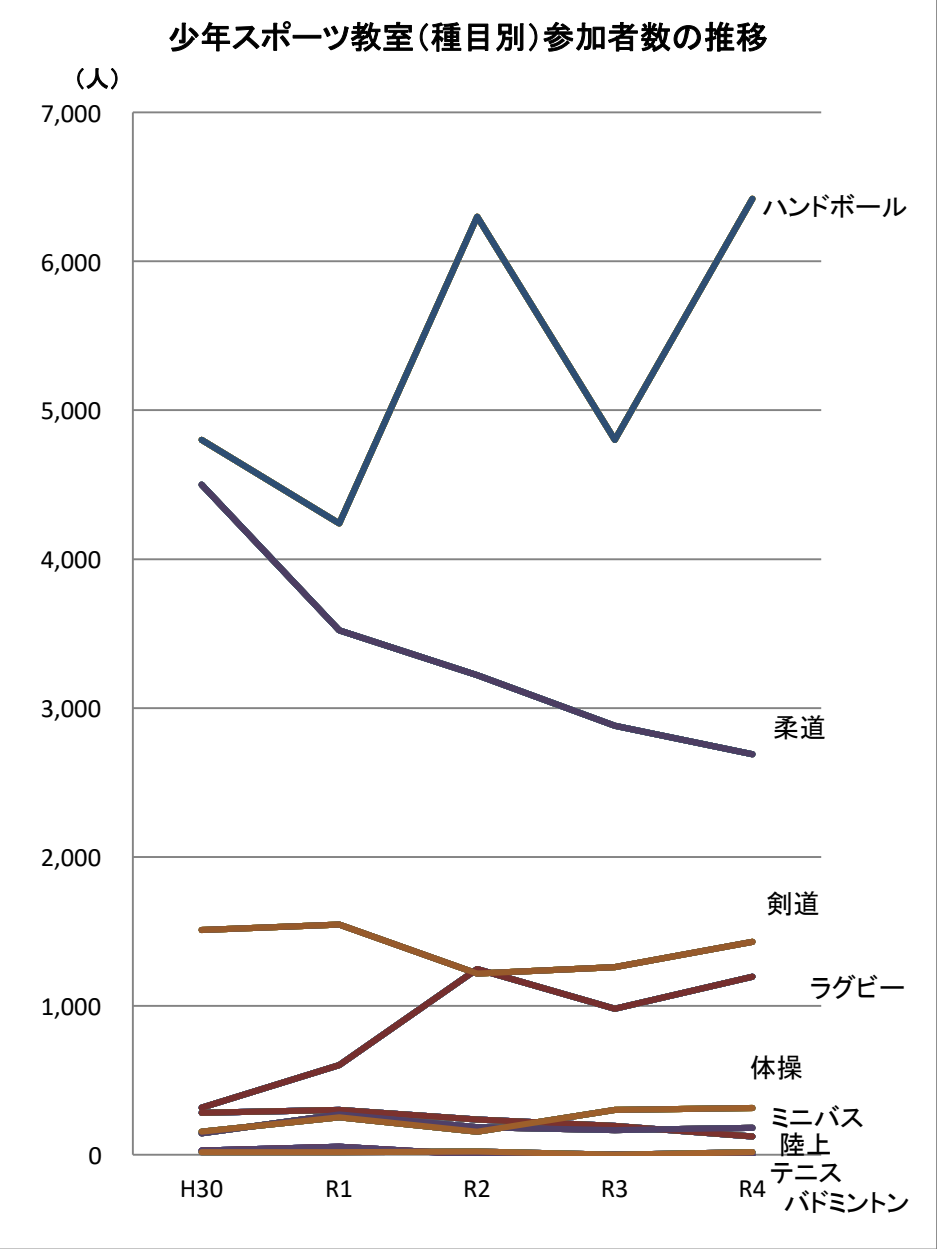
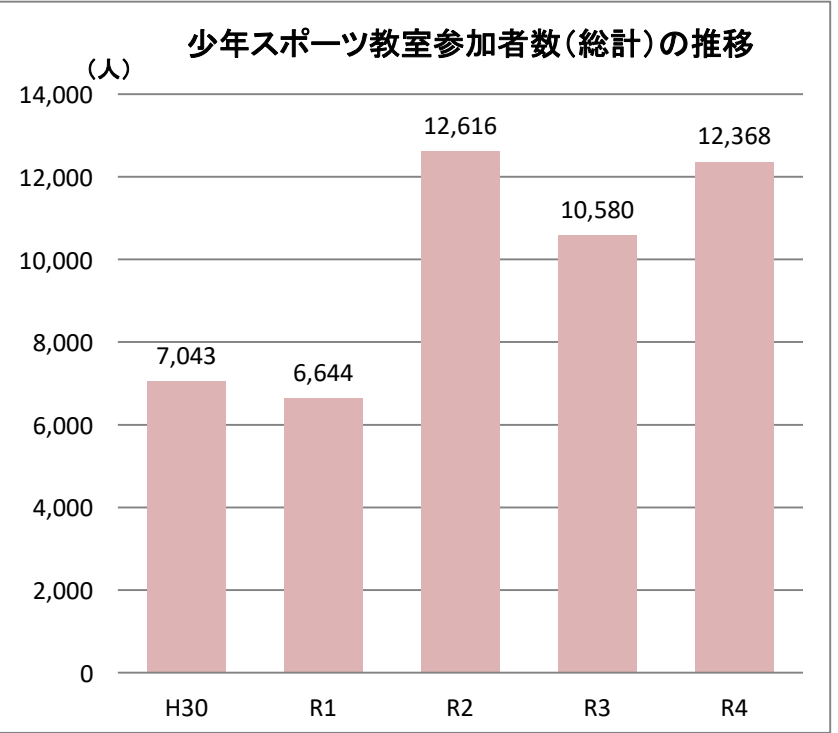
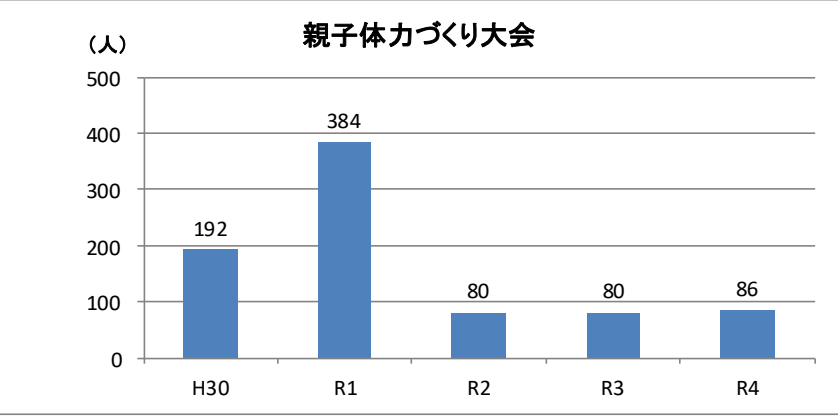
【少年スポーツ教室】

種 目	区分	H30	R1	R2	R3	R4
ラグビー	回 数	27	31	33	29	64
	人 数	316	601	1,247	981	1,195
柔道	回 数	140	128	128	126	141
	人 数	4,500	3,521	3,220	2,880	2,689
剣道	回 数	138	123	120	117	132
	人 数	1,510	1,545	1,218	1,260	1,430
ハンドボール	回 数	128	118	126	154	162
	人 数	4,800	4,240	6,300	4,800	6,420
陸上	回 数	9	10	8	6	6
	人 数	282	302	237	194	122
ミニバスケットボール	回 数	10	10	9	7	7
	人 数	145	271	184	165	180
体操	回 数	9	8	7	7	11
	人 数	155	251	154	300	315
テニス	回 数	3	3	1	中止	中止
	人 数	88	81	34	中止	中止
バドミントン	回 数	2	3	中止	中止	中止
	人 数	29	54	中止	中止	中止
空手道(H30～)	回 数	3	3	3	中止	2
	人 数	18	18	22	中止	17
合 計	回 数	341	319	435	446	525
	人 数	7,043	6,644	12,616	10,580	12,368

【小学生を対象とする各種大会の開催】

種 目	区分	H30	R1	R2	R3	R4
少年野球	チーム数	16	17	21	18	16
少年野球		326	346	316	280	260
バレーボール小学生	チーム数	30	26	29	28	24
バレーボール小学生		289	250	267	310	254
合 計	チーム数	46	43	50	46	40
合 計		615	596	583	590	514

種 目	区分			R2	R3	R4
スポーツ少年団交流会	回 数			1	1	1
	人 数			67	73	33



《参考資料》

基本方針Ⅰ-1-(2) 成年期からのスポーツ活動の推進

【各種スポーツ大会】

種 目	区分	H30	R1	R2	R3	R4
市民レガッタ	チーム数	88	67		8	33
	人 数	532	425		50	200
インディアカ	チーム数	15	12	12	12	8
	人 数	79	67	68	68	41
ドッチビー大会(～H30) ポッチャ(R1～)	チーム数	10	21		30	21
	人 数	140	74		116	78
正月マラソン						
	人 数	828	1,100			310
スキー						
	人 数	44	40	89		39
合計	チーム数	113	100	12	50	62
	人 数	1,623	1,706	157	234	668

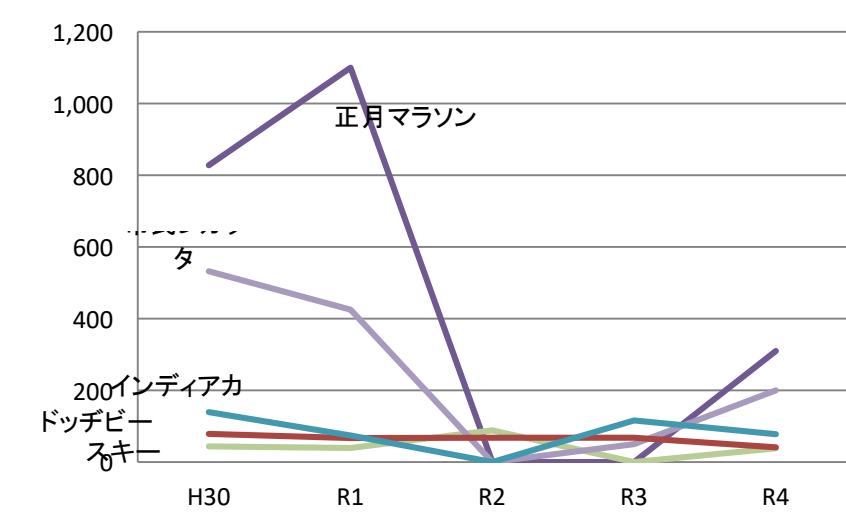
【体力づくり歩け歩け大会・体カテスト会】

種 目	区分	H30	R1	R2	R3	R4
体カテスト会	回 数	2	2			2
	人 数	54	48			73
体力づくり歩け歩け大会	回 数	12	11	4	8	12
	人 数	353	339	123	270	502
合計	人 数	407	387	123	270	575

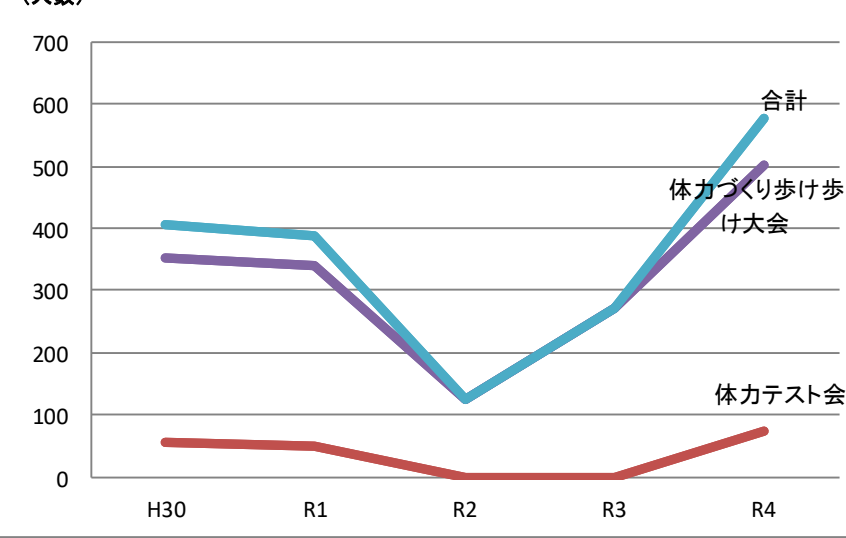
【市民体育祭】

種 目	区分	H30	R1	R2	R3	R4
ソフトボール	チーム数	7	6		4	6
	人 数	152	135		56	70
卓球	チーム数	11	11		6	7
	人 数	146	147		63	70
バドミントン	チーム数	5	4	7	6	4
	人 数	52	33	47	42	35
バレーボール	チーム数	14	14		9	
	人 数	203	172		128	
ソフトテニス	チーム数	11	10		5	5
	人 数	187	150		72	81
グラウンドゴルフ	チーム数	74	70		57	51
	人 数	417	378		317	295
野球	チーム数	10	10	6		4
	人 数	243	207	115		44
ゲートボール	チーム数	14	13		10	10
	人 数	77	77		57	60
合計	チーム数	146	138	13	97	87
	人 数	1,477	1,299	162	735	655

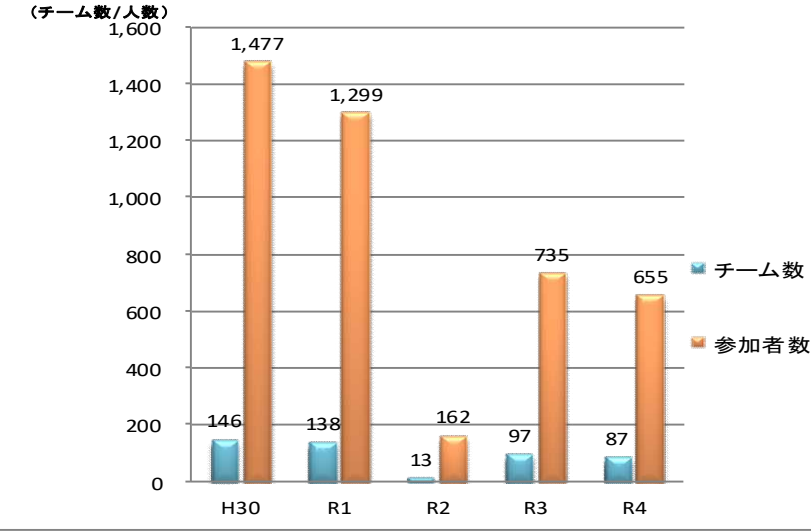
(人数) 各種スポーツ大会参加者数の推移(種目別)



(人数) スポーツイベント参加者数の推移



市民体育祭参加者・チーム数の推移(総計)

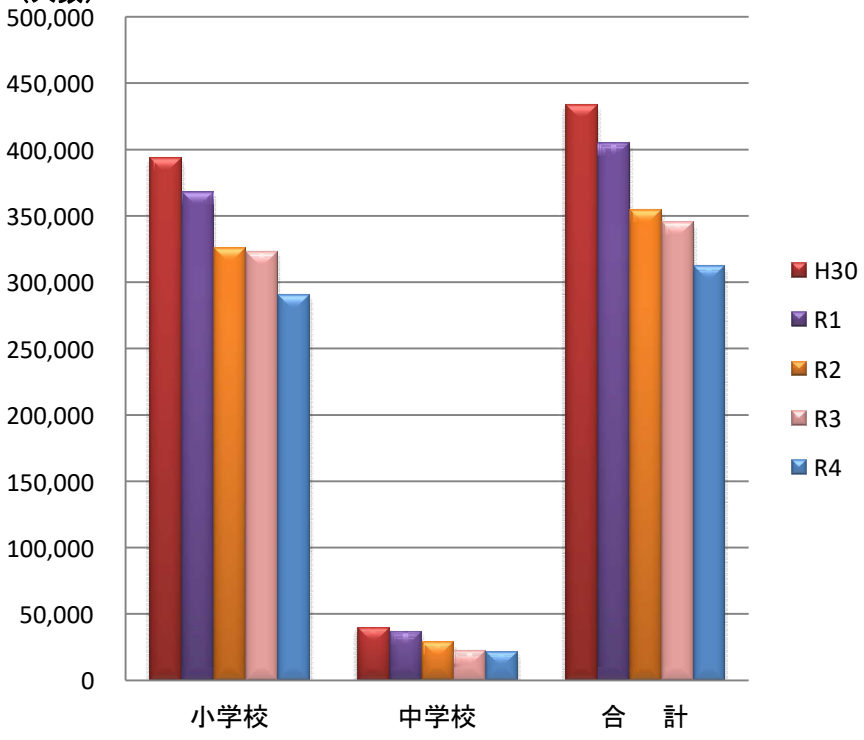


基本方針Ⅱ-1 地域のスポーツ活動の推進

【学校体育施設開放事業】

種 目	区分	H30	R1	R2	R3	R4
小学校	チーム数	18,036	16,558	15,517	14,550	13,419
	人 数	393,837	368,440	325,790	323,165	291,054
中学校	チーム数	2,808	2,449	2,035	1,636	1,657
	人 数	40,208	37,018	29,216	22,870	21,892
合 計	チーム数	20,844	19,007	17,552	16,186	15,076
	人 数	434,045	405,458	355,006	346,035	312,946

(人数) 学校体育施設利用状況(人数)



基本方針Ⅲ-1 競技力の向上

【体育協会運営事業/体育表彰】

受賞名	種別	H30	R1	R2	R3	R4
体育功労賞	個 人	10	8	7	7	7
優秀指導者賞	個 人	3	3	4	2	4
スポーツ栄誉賞	個 人	5	7	7	2	5
スポーツ特別賞	個 人	5	4	2	2	1
スポーツ賞	個 人	57	67	42	8	42
スポーツ賞	団 体	12	14	13	3	13
スポーツ奨励賞	個 人	119	114	113	61	64
スポーツ奨励賞	団 体	46	30	45	12	30
合 計	個 人	199	203	175	82	123
	団 体	58	44	58	15	43